

下野市立石橋中学校

# 学習だより

令和元年5月13日（月）発行

発行者 石橋中学校学習指導部

石橋中学校では、生徒の学力向上にむけて、そして「自ら学習していく生徒」の育成のために、以下のような取り組みを行っています。学校と保護者が一体となり、お子さんの成長・幸せを願って手を取り合っています。

## 石中での取り組み

### （１）石中タイム（7：55～8：15）を使つての自主学习

毎日の石中タイムで自習を行っています。現在の状況は、どのクラスも教室に入ると、早く登校した生徒から静かに着席し、自習を開始できています。このことを一年間通して行うことで、学習習慣の確立と自分自身で何をどのような方法で学習していくことが良いのかを考えられる生徒に育てていきます。

### （２）学習プリントコーナーの設置

4月より、各学年の教室前の廊下に「学習プリントコーナー」を設置し、国語・社会・数学・理科・英語の5教科のプリントを用意し、生徒が自らプリントをとって学習できるようにしました。内容は、基本問題と応用（活用）の問題の2種類を各教科担当が準備しています。実施を開始した最初の2日間で100枚用意したプリントがなくなっている教科もありました。「やらされてやる学習」から「自ら進んでやる学習」にして、生徒のやる気を引き出していきます。

### （３）「石中タイムで得点アップ（数学）」

明日5月14日（火）より、毎週火曜日・金曜日の2回、石中タイムをつかって、数学の少人数学習を実施していきます。数学を苦手になっている生徒が対象で、希望した生徒に指導をします。学年毎に特別教室で、教員4人で指導を実施し、数学の苦手克服に努めていきます。

## 〇保護者の皆様へお願い

家庭で、お子様に今日一日、学校でどんなことを学習してきたのかを聞いてください。先日のPTA総会後にも話をさせていただきましたが、「他の人に教える」ことが、学習定着率90%で一番高いです。どんどんお子様から話を引き出すことで、学習の定着を図れると思います。教える（話す）ことで、振り返りにもなり、頭の中が整理されます。聞くときに、分からないふりや忘れてしまったふりをして、「〇〇はどんなことなの？」のように、質問をしていただくとさらに学習効果があがります。また、中学生ですから、「親よりも自分の方ができる」という気持ちや「（親から）勉強をきなさい」と言われると反抗したくなる時期ですので、分からないふりをして、「教えてほしい」という態度で、お子さん自身が自ら勉強しようと思わせるような声をかけていただくと大変ありがたいです。

「スマホなどの使用時間が長い生徒ほど学力が低い」という関係が国の調査からも明らかになっています。スマホなどの使用は、一日一時間程度になるように、各ご家庭でルールを決めてくださるよう協力をお願いいたします。